第48回全国育樹祭の概要

1 開催趣旨

- ・全国育樹祭は、継続して森を守り育てることの大切さを普及啓発し、活力ある森林を次の世代につなげていくことを目的として、全国植樹祭を開催したことのある都道府県において、昭和52年から毎年秋季に行われている国民的な緑の祭典です（本県では初開催）。
- ・本大会3つの柱：
①持続可能な森林づくりの継承
②伝統と新技術による木材利用の発信
③震災の教訓の伝承と新たな価値の創造
- ・大会テーマ：次世代へ みどりのかけ橋 森づくり

2 主催

宮城県、公益社団法人国土緑化推進機構

3 開催日程・内容 ※下線の行事は秋篠宮皇嗣同妃両殿下御臨席または御観覧予定の行事

(1) 全国育樹祭行事

①お手入れ行事（10月4日（土） 国立花山青少年自然の家南蔵王野営場（白石市））

参加者：約300人

内容：皇嗣同妃両殿下による天皇皇后両陛下（現：上皇皇后陛下）お手植え樹木のお手入れ

②式典行事（10月5日（日） セキスイハイムスーパーアリーナ（宮城郡利府町））

参加者：約5,000人

内容：皇嗣殿下のおことば、緑化功労者等の表彰、緑の少年団活動の発表、メインテーマアトラクション、大会宣言など

③懇談会（10月4日（土） 仙台ロイヤルパークホテル（仙台市泉区））

参加者：約300人

内容：皇嗣同妃両殿下から全国育樹祭における各種表彰者へお声がけ及び御懇談

(2) 併催行事

①全国緑の少年団活動発表大会（10月4日（土） 白石市文化体育活動センター（白石市））

参加者：約300人

内容：県内および全国から選出された緑の少年団による日頃の活動状況発表等

②育林交流集会（10月4日（土） 名取市文化会館（名取市））

参加者：約300人

内容：県内外の林業・木材産業の関係者による事例発表や森林・林業が直面する課題等をテーマに行うパネルディスカッションなど

(3) 記念行事

①森林・林業・環境機械展示実演会（10月5日（日）～6日（月） 仙台塩釜港（石巻地区）雲雀野地区）

参加者：約20,000人

内容：国内外の林業機械メーカー等が最新技術を展示実演